★ 新規利用者紹介 ★

名前：坪井（つぼい） 和音（かずと）さん
８月２９日生まれ
フロア：１階通所

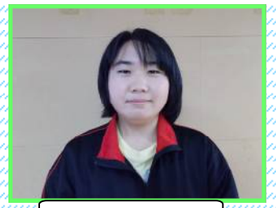
名前：宮嵜（みやざき） 優子（ゆうこ）さん
３月２５日生まれ
フロア：３階入所

★ 新人職員紹介 ★

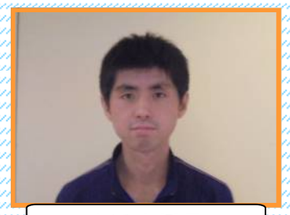
生活支援員
斎藤（さいとう） 龍哉（たつや）

生活支援員
千葉（ちば） さよ子（さよこ）

生活支援員
芳野（よしの） 千絵（ちえ）



生活支援員
櫻井（さくらい） 玲好（れいこ）



生活支援員
五ノ井（ごのい） 健朗（たけろう）

生活支援員
原（はら） 裕美子（ゆみこ）

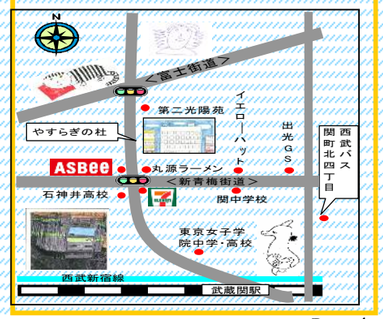
看護師
石橋（いしばし） 直美（なおみ）

厨房主任
増戸（ますど） 千英（ちえ）

社会福祉法人　章佑会
障害者支援施設
やすらぎの杜

〈法人理念〉
あらゆる人に
生きる夢と
勇気と
希望を提供する

〒177-0051
東京都練馬区関町北-7-10
電話　03（3928）3315
FAX　03（3928）3310
Email:yasuragi.mori@gol.com



社会福祉法人
章佑会
やすらぎの杜

第44号
発行日
Ｒ２年4月15日

杜の便り

新年度のご挨拶

今年のスタートは新型コロナウイルスの蔓延という、未経験の大変な状況の中で始まりました。
やすらぎの杜では令和2年4月1日、開所17年の記念式典と通所ご利用者の入社式が行われましたが、参加者は通所のみ。例年よりも規模を縮小し、時間も短縮しての開催でした。

コロナウイルスは、昨年12月、武漢市の原因不明の肺炎患者から中国当局が新型コロナウイルスを検出したのが始まりでした。それから僅か3か月、世界中で感染者が150万人を超えるという、想像だにしない状況となりました。
普通に生活していても感染するので防ぐ方法がない。また緊急事態宣言の発令と、不要不急の外出自粛により日本はもとより世界全体が沈み込み、「これからどうなってしまうのだろう」と皆さんが猛烈な不安を抱える毎日を送っています。
そんな折、私は過去に福祉の研修に行った時に受けた講義の内容が思い浮かびました。

私たちには父母とういう2人の親がいます。そしてその親、祖父母は4人、その親である曽祖父母は8人になります。さらに10代遡ると1024人、20代遡ると104万8576人、30代遡るとなんと10億7374万1824人になります。
私たちは驚くほど多くの先祖があってこそ、今ここに存在しているのです。人は多くの人とつながり、その全ての方々と関係しあって生きています。

大いなる困難を迎えた今こそ、人々は手を取り合う時ではないでしょうか。
助け合い、互いを尊敬しあい、手を取り合って生きてゆく時だと心から感じています。

どんな時でも大勢で、皆でなら乗り切れます。今こそ力を合わせて「生きる夢と勇気と希望」を持ってこの未曽有の日々に立ち向かっていきましょう。

やすらぎの杜
施設長　馬場八重子

やすらぎの杜

やすらぎの杜では　機織り、陶芸、羊毛フェルト　3種類の自主生産品制作に取り組んでいます。皆さんが好きなこと、得意なことを形にしていくので世界に1つしかないものが出来上がります。

☆羊毛フェルト☆

カラフルな色合いの羊の毛を、ニードルと呼ばれる先がギザギザした針でつついていくと、柔らかかった羊の毛が思い思いの形に固まっていきます。針を使うのが難しい場合は台所洗剤を数滴たらしたお湯に羊毛フェルトを入れ、手のひらで転がしていきます。セーターを洗濯機で洗うと縮んでしまうのと同じ原理で硬いボールが出来上がります。出来上がった素材に更に手を加え、ブローチやヘアゴムにして販売しています。

クッキー型に羊毛フェルトを入れてニードルで刺すと形が出来上がります

力を入れて転がすとボールが出来上がります

形になった羊毛フェルトにビーズを縫い付けてブローチに

羊毛フェルト作業

自主生産品

前回の杜の便りでは陶芸についてお伝えしたので、今日は「機織り」「羊毛フェルト」について報告します。

フェルトブローチ

大人気アニマルブローチ

☆機織り☆

機織りは机の上に置ける卓上の機織り機や、着物が織れるほどの大きな機織り機を使って織っています。
経糸と横糸の素材や色合いは自由に選んで織っていくので、出来上がるまではどんな織物が出来上がるかわかりません。出来上がった機織りは、縫製のお手伝いをしてくださる方たちにお願いしてバッグやポーチにして販売しています。

トントントンと織っていきます

長―く織れた織物と一緒に記念撮影

販売しているポーチ